## 課題 1

アルゴリズムとデータ構造B 第04回 ポインタ、構造体、領域の動的確保に関する課題

## 課題1

● レポート提出期限:2025年10月20日(月)9:15

```
int main() {
   int *p;
   int n, i; // n は要素数
   printf("設問3:scanfを用いて要素数を取得し n へ代入\n");
   printf("要素数を入力:");
   scanf("%d", &n);
   p = malloc(sizeof(int) * n);
   if (p == NULL) {
       printf("領域が確保できませんでした\n");
       exit(1);
   printf("%dの要素数の領域を確保しました\n", n);
```

```
set_random(p, n);
printf("設問6: ソート前の配列の中身をfor文を用いて出力\n");
for (i=0; i<n; i++)
   printf("%3d ", p[i]);
printf("\n");
bsort(p, n);
printf("設問8:ソート後の配列の中身を出力\n");
for (i=0; i<n; i++)
   printf("%3d ", p[i]);
printf("\n");
free(p);
printf("確保した領域を解放しました\n");
```

## 課題1

指示に従ってプログラムを作成し、完成したプログラム全体(適切にコメントを付ける、スクリーンショット不可)、プログラムの実行結果(スクリーンショット)をレポートに添付し、期限までにTeamsで提出せよ.レポートのテンプレートファイル(word)はTeams掲載のものを使用すること.提出ファイル形式はPDFとする

- レポート提出期限:2025年10月20日(月)9:15
- 2025様子見の提案:
- プログラムソースはテキストファイル(kadai1.c)で提出
- ◆ 実行結果はCSVファイル (カンマ区切りテキスト) で提出 テキストファイル?

## 課題1補足

- 問題3, 4:n個のデータのうち, 条件に合うもののみを表示する
  - ✓ ※文字列が一致しているかの判断は == ではできないので注意する
- 問題5:なんらかのソートアルゴリズムに従って,メンバ stock, price をうまく用いて構造体配列を降順にソートする. 降順のソートが成功していれば,最大値,最小値は0番目,n-1番目の要素のいずれかになっているので,表示する